

大人の 人形浄瑠璃鑑賞講座

人形浄瑠璃とくしま座公演



義太夫三味線の魅力

永禄年間に日本に伝わった三味線は、胴皮やバチなどに改良が加えられ、広い音域と音量、多彩な音色を得ます。喜怒哀楽を表現する語り物の楽器として定着し、その力を遺憾なく発揮します。九月、十月の講座では、鶴澤友輔さんを特別ゲストにお迎えし、たった一音でその人物の性格や感情、情景までをも表現する義太夫三味線の魅力に迫ります。

9月の講座

平成26年9月13日(土) 17:00~18:30

- 人形浄瑠璃講座(勘緑・鶴澤友輔)
「伊達娘恋緋鹿子」の見どころ、聞きどころ
- 人形浄瑠璃とくしま座公演
「寿二人三番叟」「伊達娘恋緋鹿子」

10月の講座

平成26年10月4日(土) 17:00~18:30

- 人形浄瑠璃講座(鶴澤友輔)
義太夫三味線の魅力~細棹と太棹の違い
- 人形浄瑠璃とくしま座公演
「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」



特別ゲスト：鶴澤友輔

東京芸術大学音楽部邦楽科長唄三味線専攻卒業。芸大の卒業生を中心に構成される長唄「東音会」の同人となり東音三木千佳子の名で演奏活動を行う。その後人間国宝鶴澤友路師に師事し、平成12年には鶴澤友輔襲名披露公演を開催。翌年より、阿波人形浄瑠璃「友輔会」を主宰する。第22回国民文化祭・とくしま2007では瀬戸内寂聴原作の新作浄瑠璃「義経街道娘恋鏡」「モラエス恋遍路」の作曲と演奏を担当。平成24年の第27回国民文化祭・とくしま2012で新作「阿波の心」を作曲・演奏。平成13年(財)徳島県文化協会の芸術文化奨励賞、平成18年には阿波文化創造賞を受賞。



勘緑(浄瑠璃人形遣い)

人形浄瑠璃の普及・発展と文楽人形の新しい可能性を求めて、平成24年1月、33年間に在籍した文楽座を辞しフリーの人形遣いに。主宰する「木偶舎」での公演活動のほか、全国各地の人形芝居の指導・演出や、徳島県の農村舞台復活にも積極的に取り組んでいる。平成20年4月から人形浄瑠璃とくしま座芸術監督。平成21年徳島新聞文化賞受賞。

人形浄瑠璃とくしま座

平成19年の国民文化祭で瀬戸内寂聴原作の新作人形浄瑠璃「モラエス恋遍路」を上演するため公募で結成したモラエス人形座を母体に、平成20年4月に発足。勘緑師匠の下で研鑽を積み各地で公演活動を行っている。



第16回徳島県民文化祭共催事業

会場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮島本浦 184
Tel.088-665-2202
<http://joruri.info/jurobe/>
入場料 一般410円、高・大300円、小・中200円
主催 阿波十郎兵衛屋敷+人形浄瑠璃とくしま座

